

2021 年（令和 3 年）実施
愛甲商工会
地域経済動向調査報告書

目次

1. 調査の目的
2. 調査の目標
3. 調査書の決定
 - ・ 調査対象
 - ・ 調査期間
 - ・ 調査実施と提出方法
 - ・ 調査並びに集計にあたっての特記事項
 - ・ 調査書の内容
4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化
5. 設備投資意欲と売上見通しの関係性について
6. 調査結果の視覚化（見える化）：景気判断（個社経営概況）指数
 - ・ 本調査における景気動向指数（個社経営概況指数）の定義
 - ・ 全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）
 - ・ 業種別の DI 指数（業種別の景況天気図）
7. 調査に関するお問合せ先
8. 今後の当該調査の課題について

1. 調査の目的

愛甲商工会管内の個社の経営状況や概況、さらには、その結果を集約した地域経済の概況や躍動度等を把握し、その結果を基にした「商工会の小規模事業者（個社）支援業務のあり方」を検討することである。

2. 調査の目標

調査の目標は主に以下の3点である。

- ・業種毎の個社の経営概況等を踏まえ、景況感を可能な限り「視覚的に」表現する。
- ・業種毎の個社の近未来における経営や運営姿勢を踏まえ、景況見通しを「視覚的に」表現する。
- ・得られた業種毎の地域景況感や、個社の経営や運営姿勢を踏まえ、商工会の小規模事業者（個社）支援事業に活用していく。

3. 調査書の決定

・調査対象

調査対象は愛甲商工会 管内の事業者すべて（個人事業も含む）である。

・調査期間

2021年（令和3年）8月4日（水）～9月21日（火）

・調査実施と提出方法

調査書を愛甲内の事業者へ郵送し、事業者は回答の上、同封の返信用封筒にて返送していただくことを原則とする。ただし、回収率を高めるため、愛甲商工会に直接持参、ファックス、メール、どの方法でも受付は可とした。

・調査並びに集計にあたっての特記事項

本調査におけるサービス業の対象は、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉サービス、学術研究・専門・技術サービス業、教育学習支援、運輸業、情報通信業、を含む。またその他には、製造業、卸売業、小売業、建設土木業、不動産業、サービス業、飲食業、農林水産業、に分類されないものを含む。

質問（9） 来年の売上高見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなる 2) やや良くなる 3) 変わらない 4) やや悪くなる 5) 悪くなる

質問（10） 当年度は前年度に比べ雇用人数はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 増えた 2) 変わらない 3) 減った

質問（11） 来年の雇用人数見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 積極的に増やす 2) 可能なら増やす 3) 変わらない 4) やや減らす
5) 大幅に減らす

質問（12） 当年度は前年度に比べ設備投資はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 将来の売上確保のために積極的に投資した 2) 修繕や保守を目的に投資した
3) 特に投資していない

質問（13） 来年の設備投資見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 売上確保のために積極的に増やす 2) 修繕や保守を目的に増やす
3) 今のところ投資する予定は無い

4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化

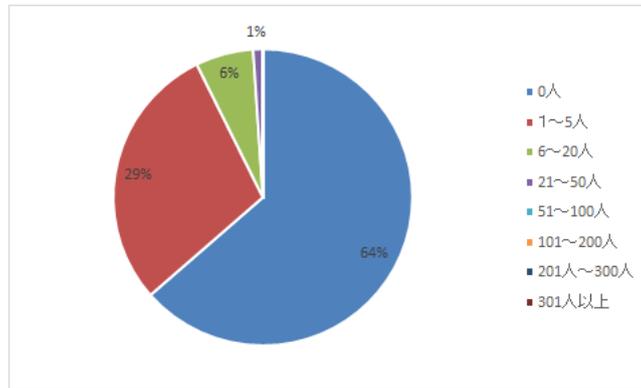
(1) 回答事業者の素性と業種構成比

業種名	有効回答者数	業種名	有効回答者数
製造業	18	サービス業	26
卸売業	1	飲食業	8
小売業	14	農林水産業	2
建設土木業	17	その他	6
不動産業	4	<u>合計</u>	<u>96</u>

(回答事業者数)

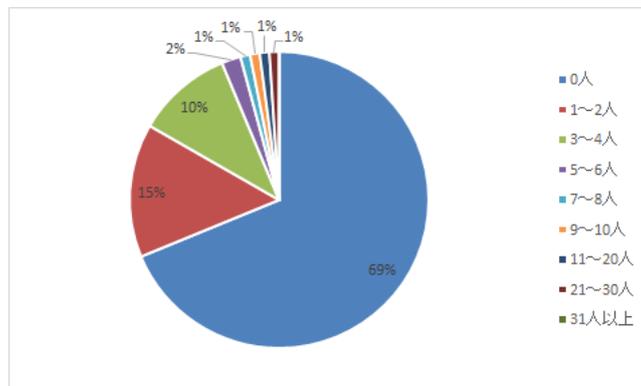
(2) 事業者の従業員の人数

*従業員：常時雇用の正規社員のこと。役員除く。個人事業の場合は、親族除く。パートやアルバイトは含まない

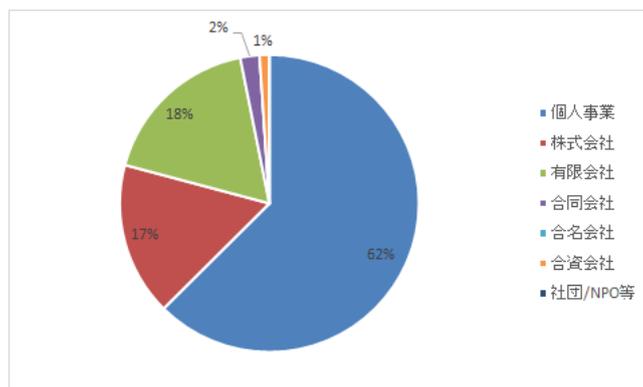


(3) パート・アルバイトの雇用人数

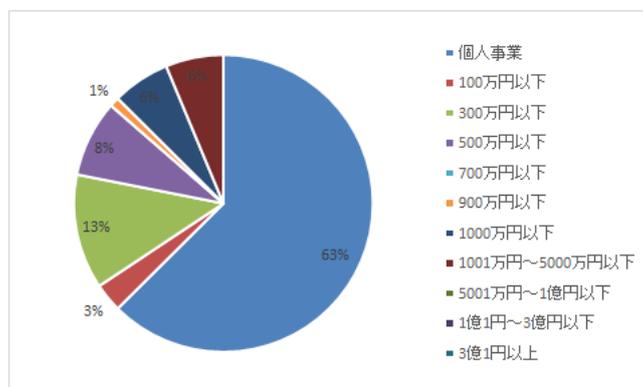
パート、アルバイト：時給を決め、時間管理で雇用している従業員



(4) 事業形態

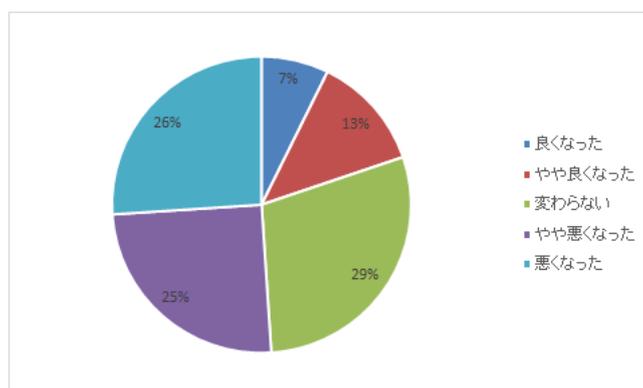


(5) 資本金の額



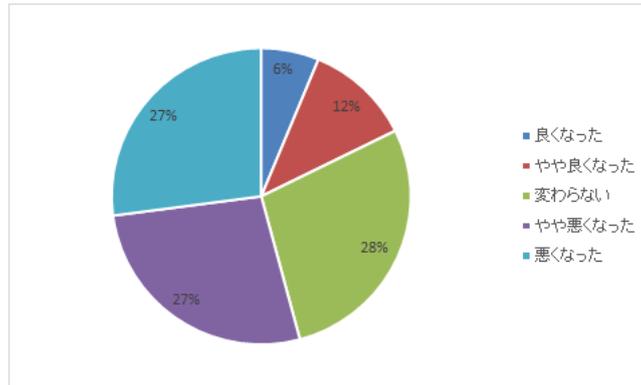
(6) 業績の結果の考察

令和3年の業績の結果の解釈(令和2年比) 業績：売上-費用=利益



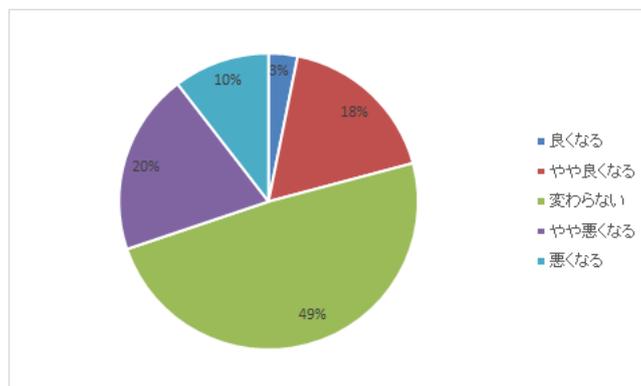
(7) 売上の結果の考察

令和3年の売上の結果の解釈 (令和2年比)



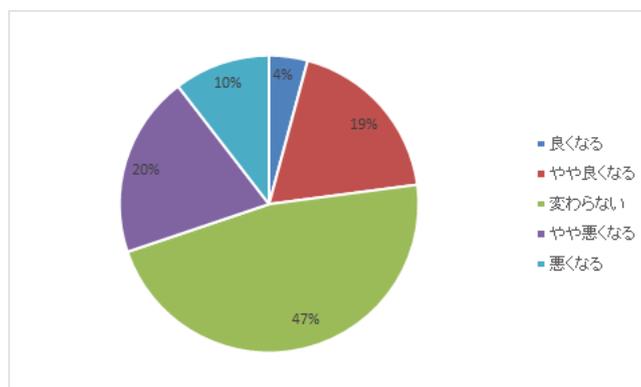
(8) 業績の見通し

令和4年の業績の見通し (令和3年比)



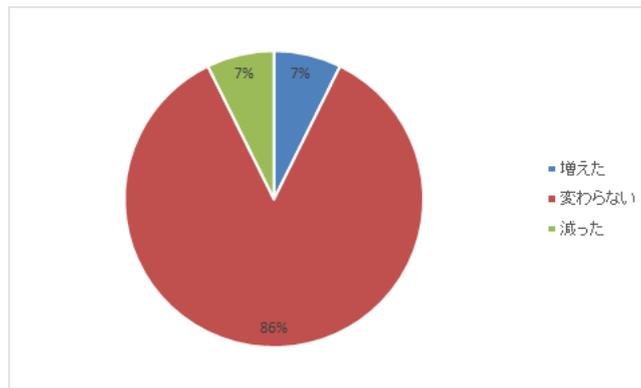
(9) 売上の見通し

令和4年の売上の見通し (令和3年比)



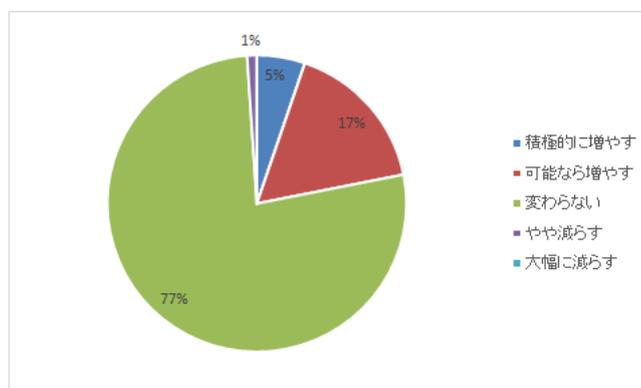
(10) 雇用の結果の考察

令和3年の雇用結果（雇用人数の増減）の解釈（令和2年比）



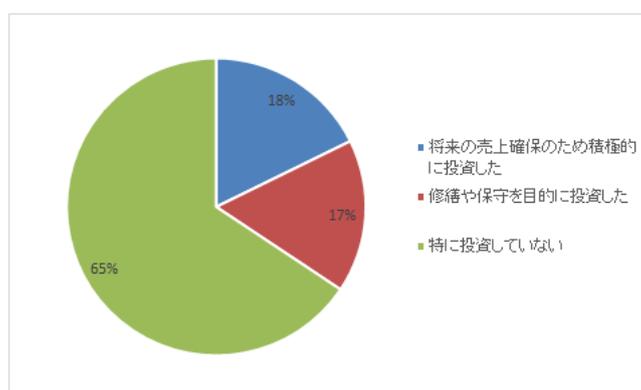
(11) 雇用の見通し

令和4年の雇用（雇用人数の増減）の見通し（令和3年比）



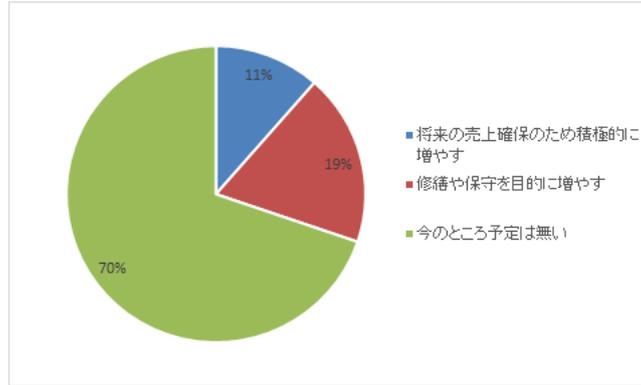
(12) 設備投資の結果の考察

令和3年の設備投資の結果の解釈（令和2年比）



(13) 設備投資の見通し

令和4年の設備投資の見通し（令和3年比）



5. 設備投資意欲と売上実績との関係性について

本項では、管内経営者の経営意欲が、売上に「どのような影響」を及ぼすのかを考察してみる。ここで指す経営意欲とは、設備投資を指しており、具体的には「次年度に向けた設備投資意欲」の「あり」「無し」が、「本年度の売上結果」や「本年度の業績結果」に「どのような影響」を及ぼしているかの考察である。なお、ここで指す「次年度に向けた設備投資意欲」とは質問13の回答結果を指し、下記のように分類する。

設備投資意欲あり

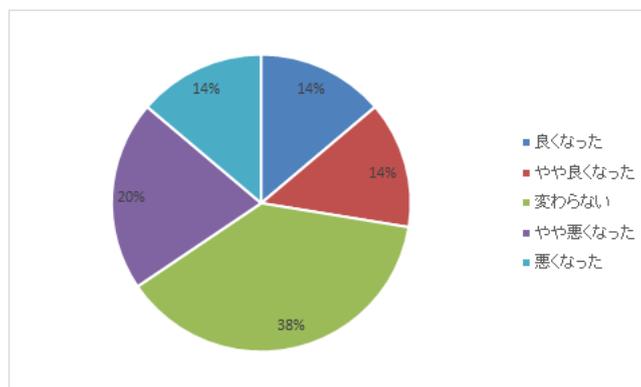
質問13で「将来の売上確保のため積極的に増やす」「修繕や保守を目的に増やす」と回答した経営者を指している。

設備投資意欲なし

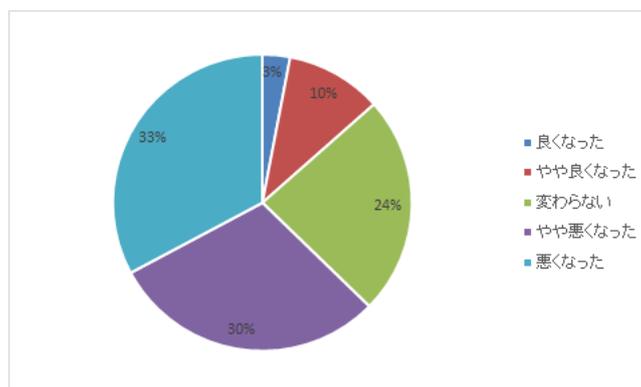
質問13で「今のところ予定はない」と回答した経営者を指している。

(備考) 令和元年においては、高齢化が、経営や事業運営姿勢にどのように表出するのかの考察を試みている。また、令和2年においては、次年度に向けた設備投資意欲の「あり」「無し」が、次年度に向けた売上見通しや、雇用見通しに、どのような影響を及ぼすかを考察している。上記、調査結果と合わせて参照されたい。

〈設備投資意欲有り無しの売上実績の傾向〉



(設備投資意欲有り売上実績)



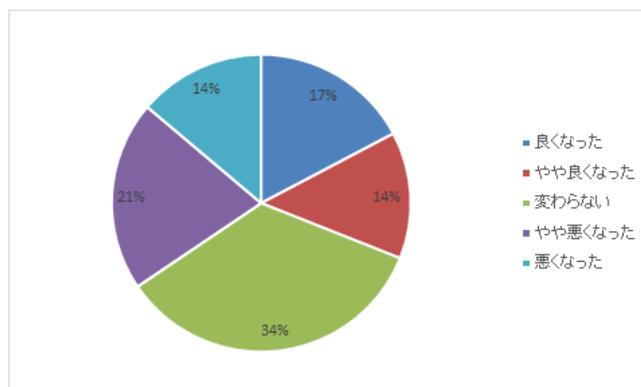
(設備投資意欲無し売上実績)

考察

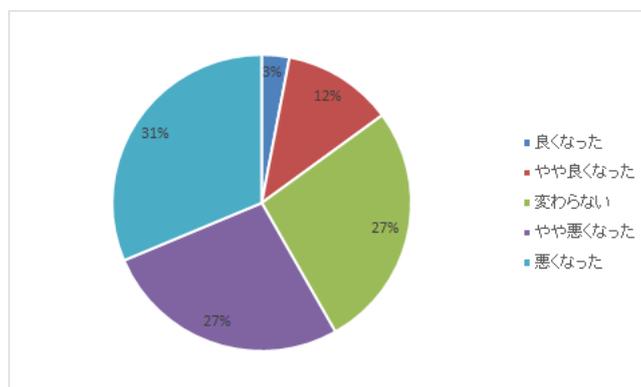
設備投資意欲が高い事業者の方が、売上実績が、楽観的（明るい）であることがわかった。商工会の支援スタンスとして、設備投資意欲をかきたてるアプローチが実現できれば、売上向上への間接的な貢献が叶うということである。

設備投資意欲を個社に醸成するためには、小規模事業者持続化補助金等の補助金の活用を薦めること、さらには金融機関の融資申請を支援する等、投資で出費する費用負担の軽減や、資金調達をサポートすると良い。

〈設備投資意欲有り無しの業績結果の傾向〉



(設備投資意欲有り業績結果)



(設備投資意欲無し業績結果)

考察

設備投資意欲が高い事業者の方が、業績の結果が好転していることがわかった。商工会の支援スタンスとして、設備投資意欲をかきたてるアプローチが実現できれば、業績の改善に近づく可能性を念頭に置いておくと良い。

また、業績は売上から費用を引いたものであるもので、投資する設備が、売上に寄与するものなのか、費用逡減(生産性向上等)に寄与するものなのか、を見定めて取組むと、より効果が高いと判断できる。例えば、原価率が高止まりしている事業者には、費用逡減に資する設備投資(例、火口が2つしかないラーメン屋が、火口を4つにすることで、調理時間の短縮が図れるなど)をすすめ、売上が減少傾向にある事業者には、売上に寄与する設備投資(例、中華料理屋が、冷凍餃子を物販するために、包餡機を導入するなど)を助言する等である。なお、原価率の改善に資する設備投資は、別途、需要開拓の取組とセットでサポートすることで、売上向上にも寄与する。例えば、先の火口を事例にしたラーメン屋が、1時間あたり30人に調理提供するのに、苦慮していたところ、火口を倍にすることで、30分で30人に提供できれば、1時間あたり、プラス30人を受け入れることが可能になる。つまり、需要開拓の成否次第ということである。

6. 調査結果の視覚化（見える化）：景気判断（個社経営概況）指数

・本調査における景気動向指数（個社経営概況指数）の定義

本調査結果では、景気動向指数：ディフュージョンインデックス（略 DI）指数を採用し、地域経済の動向（個社経営概況）を見える化した。

具体的には、回答において「(やや) 良い」「(可能なら) 実施する」をDIでは強気（楽観的）（つまりプラスと表現）とし、「(やや) 悪い」「実施しない」をDIでは弱気（悲観的）（つまりマイナスと表現）とする。結果、景気動向指数は、強気、弱気の回答割合の差で示すことになる。なお、その割合の区分に応じて、天気図を採用し、さらに視覚的に認識しやすいように工夫している。

DI	天気図
30.1 以上	
10.1～30.0	
10.0～△10.0	
△10.1～△30.0	
△30.1 以下	

例えば、令和4年の売上高見通しが、以下のような回答の場合、経営者の令和2年の売上見通しは、強気（楽観的）であったことが視覚的にわかるようになる。



売上高 良い 50% 変わらない 30% 悪い 20%

(50% - 20% = 30%)

・全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）

	業績		売上		設備投資	
	増減	景況	増減	景況	増減	景況
令和 3 年結果	△31		△36		△30	
令和 4 年予想	△ 9		△7		△40	

令和 2 年調査時の令和 3 年の売上と業績予想は、「曇りのち雨」であったが、本年の令和 4 年の予想は、それぞれ「曇り」に変化しており、改善の兆しがみられる。

・業種別の DI 指数（業種別の景況天気図）

〈製造業〉

	業績		売上		設備投資	
	増減	景況	増減	景況	増減	景況
令和 3 年結果	△21		△34		10	
令和 4 年予想	△10		0		△10	

令和 2 年調査時の令和 3 年の売上と業績予想は、「曇りのち雨」、設備投資は「雨」であったが、本年の令和 4 年の予想は、売上、業績、設備投資で「曇り」に変化しており、改善の兆しがみられる。

〈卸売業〉

	業績	売上	設備投資
	令和 3 年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し	
令和 4 年予想			

〈小売業〉

	業績		売上		設備投資	
	数値	天気アイコン	数値	天気アイコン	数値	天気アイコン
令和3年結果	0		△7		△28	
令和4年予想	△15		△22		△34	

令和2年調査時の令和3年の売上と設備投資予想と比べて、本年の令和4年の予想は、変化が見られないが、業績予想は「曇りのち雨」から「曇り」に改善している。また、他の全ての結果の項目で「好天」しており、業界全体で、改善の兆しがみられる。

〈建設土木業〉

	業績		売上		設備投資	
	数値	天気アイコン	数値	天気アイコン	数値	天気アイコン
令和3年結果	△23		△23		△30	
令和4年予想	△29		△23		△18	

令和2年調査時の令和3年の売上予想「雨」と比べて、本年の令和4年の売上予想は、「曇りのち雨」に改善している。また、令和3年の業績と売上実績も、昨年の実績と比較すると「好天」しており、足元は、想定よりも楽観的であった。

〈不動産業〉有効回答未充足につき判断無し

	業績	売上	設備投資
令和3年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し		
令和4年予想			

〈サービス業〉

	業績		売上		設備投資	
令和3年結果	△38		△47		△62	
令和4年予想	△16		△16		△48	

令和2年度調査時と本年を比べて、大きな変化は見当たらなかった。

〈飲食業〉

	業績		売上		設備投資	
令和3年結果	△76		△76		△26	
令和4年予想	25		25		△66	

令和2年調査時の令和3年の売上予想、業績予想から一転、この両項目で、本年は晴間がのぞいた。感染症の影響次第だが、久しぶりの晴間に期待したい。

〈農林水産業〉

	業績	売上	設備投資
令和3年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し		
令和4年予想			

〈その他〉

	業績	売上	設備投資
令和3年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し		
令和4年予想			

7. 調査に関するお問合せ先

愛甲商工会 和田宛

8. 課題

各種 DI 指数は、個社の個々の回答の集合体を表現したものと言える。従って、調査書の回答内容と、回答した個社の実際の売上高、営業利益、売上高成長率等の経営分析指標の収集が叶えば、地域産業全体、業種別の重回帰式の作成が可能になる。

この式（*注）があれば、個社の利用度は益々広がる。具体的には、回答結果を式に入力することで、自社の売上見込や売上高成長率の見込等が算出可能になるからである。令和3年12月末の決算の確定情報を待ち、その上で、令和元年の決算と比較することで、この式の算出を図りたい。

（*注）x には各質問の回答結果を入力します。

売上 = $a x + b x + c x + \dots$

売上高成長率 = $a x + b x + c x - d x + \dots$

営業利益 = $a x + b x + c x + \dots$